

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	平成17年度		
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	基本施策	01 未来を支える人材を育むまちづくり
	小項目	施策	03 高等学校
事務事業名	02	定時制高等学校教育振興事業	
根拠法令・例規等	学校教育法第1条、2条、29条、51条ほか		
問	担当課(室)	教育総務課施設係	
合	職・氏名	係長 入江章行	
先	電話	0869-64-1802	
このシート作成に要した時間			0.5 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市立片上高等学校生徒
目的(何のために)	動きながら学ぶ青少年等の高校教育を受ける機会を保障し、地域や学校の実態、生徒や学校の特性を考慮し、定時制高校教育の振興を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	高校教育環境の充実

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	電算機等借上事業	教育活動用の電算機借上げ	
	教材備品整備事業	各学校での教材備品の管理及び整備	
	全国大会出場補助事業	各種全国大会等への出場児童への補助	
	図書整備事業	学校図書の管理及び購入整備	
	就学奨励事業	夜食補助	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額	直接事業費		3,162	5,214	4,294
	必要人員(人件費)	千円	0.00人	0	0.05人
	事業費		3,162	5,940	4,671
	国県支出金			472	
	受益者負担				
	繰入金	千円			
その他( )					
一般財源			3,162	5,468	4,671
受益者負担比率	%		-	-	-
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
結果指標	定時制高校図書費・教材備品費	説明	定時制高校図書費・教材備品費/生徒数		
	結果指標量	事業	99	100	102
	対前年比	%	-	101.0%	102.0%
	活動コスト	円	130,000	944,086	175,585
単位当たりコスト			1,313	9,441	1,721

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
在校生一人当たりの図書費・教材備品	目標値(A)	1,271	1,313	1,170	1,000
	実績値(B)	1,313	9,441	1,721	到達目標値
	達成率(B/A)	103.30%	719.04%	147.09%	1,000

図書整備事業費・教材備品事業費の中で、在校生一人当たりの執行額を指標とする。  
各年度執行額÷在校生

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	C
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	B

事業の目的やその数値目標から有効性を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	限られた予算の範囲で教材備品、図書の充実に努める。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	評価区分 <A~E>
多様な就学環境を持つ生徒が増えるまた、特色ある魅力的な学校づくりが必要であり、その教育課程に応じた教育教材や図書の充実を図ることができた。			B

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	引き続き、限られた財源の中で教育教材・図書の充実を図る。					